

株主メモ

STOCKHOLDER MEMO	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金(実施する場合) 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
	証券会社に口座をお持ちの場合 証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配 当金受取り方法の 変更等)	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の 店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱い できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行ならびにみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)
ご注意	支払明細発行については、特別口座では、単元未満株式の買 取・買増以外の株式売買はできま せん。証券会社等に口座を開設し、 株式の振替手続を行っていただく 必要があります。
公告方法	電子公告によって行います。 (http://www.carlithd.co.jp) ただし、事故その他止むを得ない事由によって電子公告による公告を する事ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

株主優待制度変更のお知らせ

このたび当社は、平成30年をもちまして、創業100周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。これを機に当社は株主還元のある方を見直し、中長期に亘り当社株式を保有していただくことを目的に、株主優待制度を変更することといたします。

変更内容

変更前

所有株式数	内容
100株~499株	UCギフトカード1,500円分
500株~999株	UCギフトカード2,000円分
1,000株以上	UCギフトカード2,500円分



変更後

所有株式数	内容	
	保有期間3年未満	保有期間3年以上
100株~499株	UCギフトカード 500円分	同 1,500円分
500株~999株	UCギフトカード 1,000円分	同 2,000円分
1,000株以上	UCギフトカード 1,500円分	同 2,500円分

変更の時期

平成31年3月末日を基準とする株主名簿に記載または記録されている株主様より変更いたします(優待品の発送は毎年6月下旬を予定しております)。

ご注意

- ①保有期間については、3月末日及び9月末日を基準とする当社株主名簿をもとに、同一の株主番号で、100株以上の当社株式を連続して保有している回数にて判定いたします。
保有期間3年以上とは…同一の株主番号で連続7回以上、100株以上を保有
- ②所有株式数については、優待発送の基準日時点の所有株式数のみで判定いたします。

2018年3月期 株主通信

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日



— 無限の可能性をカタチに —

 **カーリットホールディングス株式会社**

 **カーリットホールディングス株式会社**

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目17番10号
TEL: 03-6893-7070 FAX: 03-6893-7050

<http://www.carlithd.co.jp> **カーリットHD** **検索**



UD FONT 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

証券コード 4275



トップメッセージ

TOP MESSAGE

「無限の可能性をカタチに」

創業100周年を迎え、
新たにコーポレートスローガンを
策定いたしました。
これからも積極的に新しい事業へ
挑戦してまいります。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）が終了いたしましたので、決算の概要および今後の事業展開につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 廣橋 賢一

平成29年度の実績について

当連結会計年度におけるわが国の経済は、堅調な雇用・所得環境を背景に緩やかな回復基調で推移しました。先行きについては、東アジア地域における地政学的リスクや米国の保護主義的な通商政策等により、依然として不透明な状況が続いております。

当期は、創業100周年を最終年度とする4カ年の中期経営計画『礎100』の3年目に当たります。次の100年の新たな事業基盤の確立を目指し、成長基盤

強化、収益基盤強化、グループ経営基盤強化の3つの基盤強化を掲げ、中期経営計画達成に向けて諸施策に取り組んでおります。

このような状況のなか、当連結会計年度の連結売上高は、517億8千5百万円（前年同期比 40億1千8百万円増、同8.4%増）となりました。化学品事業部門は、電子材料や受託評価試験、販売商社である佳里多上海などが好調だったことにより増販。ボトリング事業部門も、充填設備更新による生産

能力の向上により増販。また、産業用部材事業部門についても、シリコンウェーハやばね・座金製品などが市況の回復により増販となり、3つの事業部門全てにおいて増販となりました。

なお、連結営業利益は20億2千8百万円（前年

同期比 6億7千7百万円増、同50.1%増）、連結経常利益は21億7千6百万円（前年同期比 7億3千6百万円増、同51.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、15億6百万円（前年同期比 7億4千1百万円増、同96.9%増）となりました。

中期経営計画『礎100』について

■『礎100計画』最終年度を迎えて

平成30年度は、創業100周年を迎えるとともに中期経営計画『礎100』の最終年度でもあります。売上高540億円、営業利益24億円の達成に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいります。

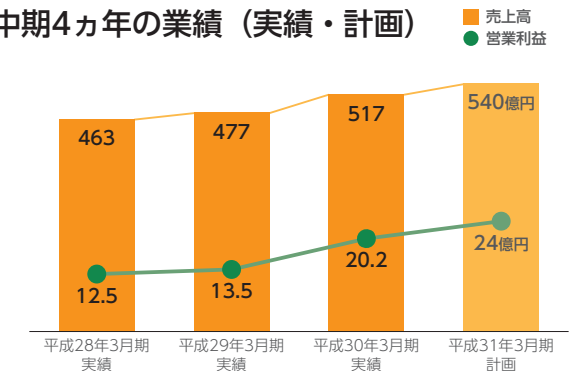
今後の取り組みとして、まずは、既存事業の拡販に努めてまいります。

昨年度は、ボトリング事業部門において実施した設備増強の効果や設計会社である(株)SDネットワークのM&Aが業績に寄与。また電子材料関連やばね・座金製品なども、市況の好調が継続し増販となりました。今年度につきまして、これらの要因が引き続き業績に寄与する見込みとなっております。加えて、化学品事業部門における発炎筒や電解プラント等での増収、受託評価試験やシリコンウェーハも売上が拡大する計画となっております。

利益面についても、設備投資の償却負担等が

増す見込みですが、自家水力発電所である『広桃発電所』の更新工事が本年3月に完工したことにより購入電力料金の負担が軽減されるほか、前述した既存事業における拡販により利益が改善する見込みです。

中期4カ年の業績（実績・計画）



■コーポレートガバナンス強化

本年4月、グループの横断的な運営と効率的な執行を行うことを目的に、「営業」、「生産」、

トップメッセージ

TOP MESSAGE

「戦略」、「管理」、「経理・財務」、「R&D」の各部門の統括執行者として取締役をそれぞれ配置する体制を整えました。グループ各社の課題を早期に発見し、スピード感を持って解決することで、一層の企業価値向上を図ってまいります。

また当社では、コーポレートガバナンス強化を目的に、『取締役会実効性評価』を行っております。これは年1回、取締役会について全取締役・全監査役が取締役会の役割や構成、運営、監査役との連携などについて評価を行い、取締役会の実効性を高めていくものです。今年度の取締役会についても、本年3月に実施した



『取締役会実効性評価』の結果を踏まえて、より建設的な議論を重ね、取締役会のさらなる機能向上を図ってまいります。

■ 研究開発への取り組み

高エネルギー研究所のロケット推進薬の研究に関しては、パイロットプラントの増強工事や製品化に向けて取り組んでおります。環境エネルギー研究所では、キャパシタ用電解液など当社固有の強みが発揮できる蓄電デバイス分野に注力してまいります。ライフサイエンス研究所では、茶殻から抽出した有用成分の事業化を目指して市場環境の精査と試験販売を進めてまいります。新材料技術研究所と(株)シリコンテクノロジーの共同成果であるゲルマニウム精製事業



は、今年1月から始まっており、光学レンズ材料とあわせ、今後拡販に努めてまいります。

今後も、付加価値の高い製品の早期市場投入

創業100周年と記念事業

当社グループは平成30年をもちまして、創業100周年を迎えました。創業100周年を記念して、いくつかの記念事業を実施いたしました。

コーポレートスローガンの策定

社内公募により、コーポレートスローガン「無限の可能性をカタチに」を策定しました。

カーリットグループ紹介映像の作成

当社グループのことをよりよく知っていただくため、できるだけ多くの若手社員に登場してもらい、思いを語ってもらっています。(映像は、当社ウェブサイトで公開しています。)

学生支援

経済的な理由により就学が困難な学生が安心して学べるよう誰でも応募できる給付型の奨学金制度を新設しました。

創業の地での植樹

日本カーリット(株)保土ヶ谷工場跡地である横浜市の「たちばなの丘公園」に感謝の気持ちとこれからも共に成長していきたいとの思いを込め「シダレザクラ」などを植樹しました。

を実現するため、研究テーマや開発体制の見直しと人財の教育を進めてまいります。

コーポレートスローガン「無限の可能性をカタチに」は、創業以来、社会に必要とされるモノを興す精神で、様々な事業領域へ進出してきた当社グループが、これからも積極的に新しい事業に挑戦し続ける姿勢を表したものです。新たな100年を迎え、経営理念「信頼と限りなき挑戦」のもと、これからも当社グループは企業価値向上に取り組んでまいります。

株主の皆様には引き続き、ご支援・ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



— 無限の可能性をカタチに —

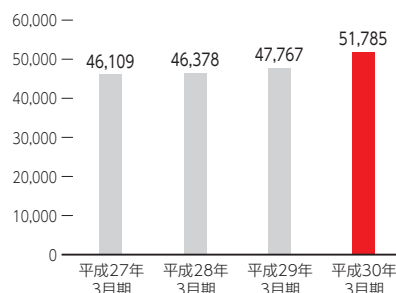
連結業績ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

- ▶ 売上高は、ボトリング事業やシリコンウェーハ、ばね・座金製品が好調だったことにより、前期比8.4%増
- ▶ 経常利益は、電子材料や(株)総合設計が好調だったことにより、前期比51.2%増
- ▶ セグメント別には、化学品事業、ボトリング事業、産業用部材事業、全ての事業分野において増販

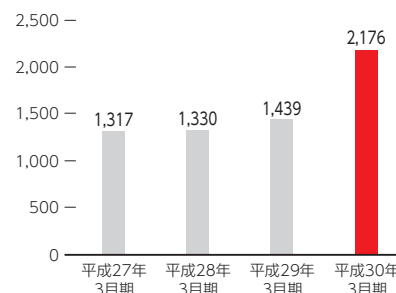
売上高

単位：百万円



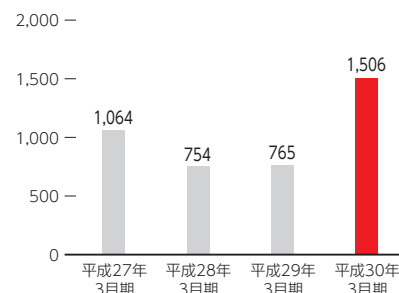
経常利益

単位：百万円



親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円

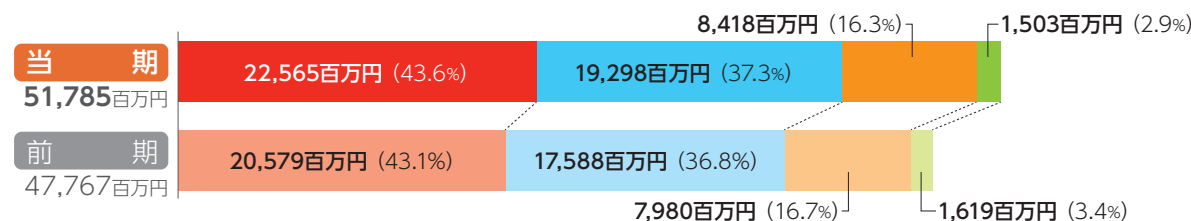


セグメント別売上高

当期の売上高 **51,785** 百万円 (前期：47,767百万円)

売上高構成比

- 化学品事業部門 **43.6%** (同 43.1%)
- ボトリング事業部門 **37.3%** (同 36.8%)
- 産業用部材事業部門 **16.3%** (同 16.7%)
- その他(調整額消去後) **2.9%** (同 3.4%)



セグメント別の概況

SEGMENT INFORMATION BY BUSINESS CATEGORY



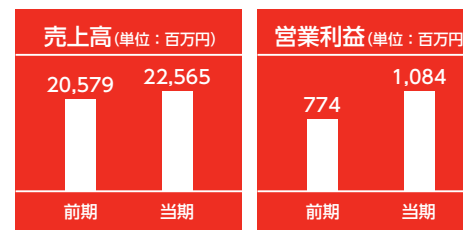
CHEMICALS 化学品事業部門

主な事業内容

人々の安全を守る自動車用緊急保安炎筒、リチウムイオン二次電池などの受託評価試験、ロケット推進薬に使用される過塩素酸アンモニウム、パソコンなどに使用される機能性高分子コンデンサ向けピロール関連製品、研削砥石など、確かな技術により、人々の暮らしを支えています。



産業用爆薬



■ 売上高

■ 営業利益

22,565 百万円 **1,084** 百万円

化学分野においては、産業用爆薬は土木案件の減少により減販となりました。自動車用緊急保安炎筒は、新車装着向けは微減、車検交換向けは増販となり、全体として増販となりました。また、高速道路用信号炎管と鉄道用信号炎管は横ばい、煙火材料は増販となり、分野全体としては増販となりました。

受託評価分野においては、危険性評価試験、電池試験とも増販となりました。

化成品分野においては、パルプ漂白用の塩素酸ナトリウムと過塩素酸は増販となったものの、除草剤は横ばい、ロケットの固体推進薬原料である過塩素酸アンモニウムは打ち上げスケジュールの影響により減販となり、分野全体としては減販となりました。

電子材料分野においては、電気二重層キャパシタ用電解液とイオン導電材料は大幅な増販、機能性高分子コンデンサ向けピロール関連製品、チオフェン系材料、アルミ電解コンデンサ向け材料は増販となり、分野全体としては増販となりました。

セラミック材料分野は、国内主要砥石メーカーの堅調な生産により、増販となりました。

その他では、販売商社である佳里多上海は大幅な増販に、三協実業は増販となりました。

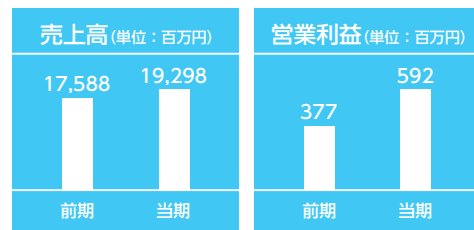
これらの結果、当事業部門全体の売上高は225億6千5百万円(前年同期比 19億8千6百万円増、同9.7%増)、営業利益は10億8千4百万円(前年同期比 3億9百万円増、同40.0%増)となりました。



BOTTLING ボトリング事業部門

主な事業内容

人々の暮らしの必需品となったペットボトル飲料や缶飲料の受託製造を行っております。ペットボトル飲料の生産では容器生産、調合、充填、包装、検査まで一貫した生産システムを充実させ、主として茶製品を安定的かつ効率的に生産・供給しております。



主力の茶系飲料は受注の増加と充填設備更新による生産の効率化により増販となったものの、缶製品と炭酸飲料などの委託品は減販となりました。

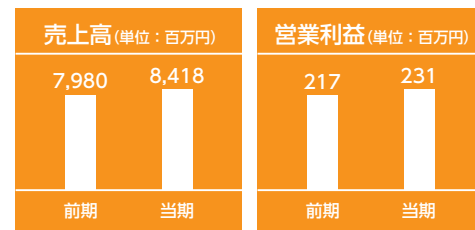
これらの結果、当事業部門全体の売上高は192億9千8百万円（前年同期比 17億1千万円増、同9.7%増）、営業利益は5億9千2百万円（前年同期比 2億1千5百万円増、同57.2%増）となりました。



MATERIALS 産業用部材事業部門

主な事業内容

パソコンなどに使われる半導体用シリコンウェーハ、都市ごみ焼却設備に使用される耐火・耐熱金物、自動車・建設機械向けばね・座金などを製造・販売しており、産業発展に貢献しています。



シリコンウェーハは、不採算品目からの撤退等を行うも、半導体市場の好況を受け増販となりました。

耐火・耐熱金物は、都市ごみ焼却場やバイオマスプラントの新設案件の減少により減販に、スタッド事業は増販となりました。ばね・座金製品は拡販の成果と市場環境の回復が継続し増販となりました。

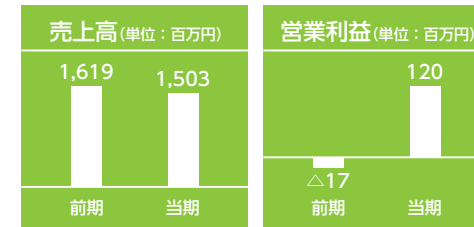
これらの結果、当事業部門全体の売上高は84億1千8百万円（前年同期比 4億3千7百万円増、同5.5%増）、営業利益は2億3千1百万円（前年同期比 1千4百万円増、同6.5%増）となりました。



OTHERS その他・消去

主な事業内容

工業用塗料・塗装工事請負、上下水・建築物等の設計・監理、不動産賃貸など、幅広い事業活動をしております。



身近なところにカーリット

～ペットボトル・缶飲料～

どこでも手軽に買えるペットボトル飲料や缶飲料は、現代に暮らす私たちの暮らしに欠かせないものとなっています。

当社グループのボトリング事業では、最新の温水無菌充填システムを導入した生産設備を備え、調合から充填、包装、検査までを一貫して行い、様々な飲料製品を安定的かつ効率的に生産、供給しています。HACCPシステム（総合衛生管理製造過程）などの承認・運用により、品質管理を徹底し、人と環境にやさしい製品づくりを実践して、安全でおいしい飲料水を皆さまのもとへ届けています。



連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当期	前期
	平成30年3月31日現在	平成29年3月31日現在
資産の部		
流動資産	23,366	20,200
固定資産	31,094	29,237
有形固定資産	21,453	19,961
無形固定資産	337	580
投資その他の資産	9,303	8,695
資産合計	54,461	49,438
負債の部		
流動負債	18,032	14,077
固定負債	10,739	11,440
負債合計	28,772	25,518
純資産の部		
株主資本	21,908	20,639
資本金	2,099	2,099
資本剰余金	1,192	1,192
利益剰余金	18,824	17,557
自己株式	△ 208	△ 210
その他の包括利益累計額	3,780	3,280
純資産合計	25,688	23,920
負債純資産合計	54,461	49,438

連結損益計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
売上高	51,785	47,767
売上原価	43,458	40,120
売上総利益	8,326	7,646
販売費及び一般管理費	6,298	6,295
営業利益	2,028	1,351
営業外収益	287	219
営業外費用	139	131
経常利益	2,176	1,439
特別利益	31	45
特別損失	88	262
税金等調整前当期純利益	2,119	1,222
法人税、住民税及び事業税	757	498
法人税等調整額	△ 144	△ 41
当期純利益	1,506	765
親会社株主に帰属する当期純利益	1,506	765

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,880	2,384
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,633	△ 2,871
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,155	△ 137
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	91	△ 656
現金及び現金同等物の期首残高	4,131	4,788
現金及び現金同等物の期末残高	4,222	4,131

会社概要

CORPORATE PROFILE

会社概要 (平成30年3月31日時点)

商号	カーリットホールディングス株式会社 (英文社名 Carlit Holdings Co.,Ltd.)
設立	平成25年10月1日
資本金	2,099百万円
従業員	1,062名(連結)

主なグループ会社 (平成30年3月31日時点)

● 国内	
日本カーリット株式会社	化薬・化学品・電子材料品・研削材・煙火材料等の製造・販売および危険性評価試験ならびに電池試験の請負
株式会社シリコンテクノロジー	半導体用単結晶シリコンおよび半導体用シリコンウエーハの製造・販売
カーリット産業株式会社	エンジニアリング、建設業務、白蟻防除の施工・請負
ジェーシーボトリング株式会社	清涼飲料水のボトリング加工
富士商事株式会社	工業用塗料販売および塗装工事
並田機工株式会社	各種耐火・耐熱金物等の製造・販売
株式会社総合設計	建築物、工作物、上下水・排水処理施設等の設計および監理
東洋発條工業株式会社	自動車および建設機械向け各種スプリングの製造・販売
株式会社西山フィルター	工業用繊維製品の加工・販売
アジア技研株式会社	スタッドおよび溶接機械の製造・販売
三協実業株式会社	合成樹脂原料の販売
株式会社エスディーネットワーク	建築の設計および監理並びにコンサルタント業務
● 海外	
佳里多(上海)貿易有限公司	化学品および電子材料等の仕入・販売
Carlit Singapore Pte.Ltd.	化学品および電子材料等の仕入・販売
NAMITA VIETNAM CO.,LTD.	各種耐火・耐熱金物等の製造・販売

役員 (平成30年6月28日時点)

取締役		監査役	
代表取締役会長	出口 和男	常勤監査役(社外)※	森田 庸夫
代表取締役社長	廣橋 賢一	監査役(社外)※	安達 義二郎
取締役兼常務執行役員	金子 洋文	監査役	六本木 英次
取締役兼常務執行役員	森下 貴	監査役	青木 章哲
取締役兼常務執行役員	山本 秀雄	執行役員	
取締役兼執行役員	福田 実	執行役員	岡本 英夫
取締役兼執行役員	柴田 良明	執行役員	坂田 貞二
取締役(社外)※	大村 扶美枝		
取締役(社外)※	山本 和夫		
取締役(社外)※	新保 誠一		

※を付した役員は東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

株式の状況 (平成30年3月31日時点)

STOCK INFORMATION

株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	24,050,000株
単元株式数	100株
株主数	30,861名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
みずほ信託銀行(株)退職給付信託丸紅口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	1,997	8.3
日油(株)	915	3.8
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	913	3.8
明治安田生命保険(株)	700	2.9
長瀬産業(株)	700	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	681	2.8
(株)大阪ソーダ	559	2.3
資産管理サービス信託銀行(株) (証券投資信託口)	548	2.3
芙蓉総合リース(株)	522	2.2
(株)りそな銀行	460	1.9

所有者別株式分布状況

